

## 北陸地方非常通信協議会 第61回総会及び表彰式を開催

－平成24年度事業計画を決定（総会） 協議会活動に貢献のあった5団体を表彰（表彰式）－



第61回総会（中央は室口議長）

平成24年7月12日（木）金沢市内において、北陸地方非常通信協議会第61回総会を開催しました。また、この1年間に災害時の情報伝達の確保に貢献のあった5団体を会長から表彰しました。

冒頭、会長の北陸総合通信局長 齊藤一雅が、東日本大震災の教訓を踏まえ、中央非常通信協議会が全国的な課題として提起している

- インフラ機関や未加入市町村のさらなる加入促進を通じた協議会組織の拡充
- Webベースのシステムによる会員相互間における情報の共有・伝達体制の整備
- 非常通信ルートの見直し

の3つの柱について触れ、当協議会では、本年3月に未加入市町村がゼロになっており、一定の成果を挙げているが、その他の課題については、今後、会員とともに着実に進めていきたい、と挨拶しました。

総会では、西日本電信電話株式会社設備部災害対策室室長 室口光広氏を議長に選出し、平成23年度の活動報告と平成24年度の実業計画及び役員が満場一致で承認されました。

総会に引き続き、平成23年度の1年間に、非常災害時の情報伝達の確保に顕著な功績を挙げられた5団体に対して、北陸地方非常通信協議会会長から表彰状を授与し、日頃の活動に敬意と感謝を表しました。

今年度表彰された方々とその事績は別紙のとおりです。

担当 無線通信部 陸上課 076-233-4480



齊藤会長（北陸総合通信局長）、室口議長、表彰を受けられた5団体の代表の方々との記念撮影

別紙

平成24年度 北陸地方非常通信協議会 会長表彰者 一覧

(順不同 敬称略)

表彰された団体	事 績 の 概 要
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 北陸支社	平成24年2月の石川県津幡町で発生した土砂崩れによる瓜生地区の孤立に際し、車載型基地局を配備して通信の確保を図り、地域住民及び被災地復旧へ向けての多大な貢献をした功績。
KDDI株式会社 技術統括本部 運用本部 運用品質管理部 金沢テクニカルセンター	平成24年2月の石川県津幡町で発生した土砂崩れによる瓜生地区の孤立に際し、車載型基地局を配備して通信の確保を図り、地域住民及び被災地復旧へ向けての多大な貢献をした功績。
北陸電力株式会社	平成23年9月の紀伊半島で発生した台風被害の復旧のため職員を派遣し、無線を活用して電源復旧の活動を展開して、災害復旧に多大なる貢献をした功績。
一般社団法人日本アマチュア無線連盟 富山県支部	長年にわたり支部独自の活動として災害時を想定した防災訓練を実施し、災害時における通信の確保に努められた功績。
あわら市	防災情報を市民に伝達する防災行政無線のデジタル化を推進するため、北陸管内では初となるデジタルMCA通信システムを用いた、同報系及び移動系ネットワークを平成20年から3年をかけて構築し、災害時における通信の確保に多大なる貢献をした功績。